

重点プロジェクト(総合戦略)の新旧比較

	旧(第2期)		新(第3期)		変更の方向性・考え方
	プロジェクト	基本方針	プロジェクト	基本方針(案)	
1	小さなまちだからこそのつながる未来応援プロジェクト ～結婚・出産・子育てに対する支援が充実した、子育て家庭に選ばれるまち～	安心して子どもを産み育てられる環境づくり 子育て環境・交流活動の推進 一人ひとりの個性を光り輝かせる教育の充実	若者・子育て世代に選ばれる生活・教育環境の創造	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援 子どもの居場所と安全・安心な生活環境の充実 一人ひとりの個性と学びを支える教育の充実	「産み育てられる環境」から、結婚・妊娠・出産・子育てを一連のライフステージとしてとらえ、切れ目ない支援とすることで、少子化対策・定住促進の中核として位置付け直した。 交流・活動の量的拡大から、「居場所」や「安全・安心」といった質の確保を前面に出し、放課後・地域・オンライン等を含む多様な場づくりへと射程を広げた。 「光り輝かせる」という抽象的表現を、「学びを支える」と言い換えることで、学校教育・地域学習・キャリア教育等を通じた具体的な学びの支援として位置付けた。
2	小さなまちでの職住近接プロジェクト ～企業・事業所と共に歩み、あらゆるひとの可能性を最大化させるまち～	就労支援の拡充 地元企業の発展と住民の雇用促進 (明示なし：職住近接等は本文で言及)	地域の稼ぐ力と多様な働き方の創出	誰もが活躍できる就労・雇用支援の拡充 地元企業・事業所の経営基盤強化と創業支援 職住近接と働きやすい環境づくり	従来の就労支援に加え、女性・障がいのある人・高齢者等、多様な人材の活躍に焦点を当てることで、「誰もが活躍できる」インクルーシブな雇用環境づくりを打ち出した。 企業支援から一歩進めて、経営基盤の強化や創業支援を通じた「稼ぐ力」の向上に軸足を移し、人口減少下でも持続可能な地域経済づくりを意識した整理とした。 旧計画で文章中にとどまっていた「職住近接」「ワーク・ライフ・バランス」の視点を、独立した基本方針として明示し、テレワーク等を含む多様な働き方の推進を前面化した。
3	小さなまちでの魅力発掘プロジェクト ～魅力発信によって“うごき”を生み、ひととつながるまち～	シティプロモーションの推進 まちへの愛着・誇りの醸成 (関係人口は本文中心)	交流・関係人口拡大による地域魅力の向上	シティプロモーションの推進 愛着と誇りを育む地域の場づくり 交流・関係人口拡大による地域魅力の向上	- 単に気持ちの醸成を図るだけでなく、イベント・交流拠点・公園等の「場づくり」を通じて、住民参加や関係人口の受け皿を整備する方向へと具体化した。 旧計画で文章中に位置付けていた「関係人口」を、プロジェクト名に組み込み、ふるさと納税・交流事業・情報発信を通じた新たな人の流れの創出を、明確な柱として格上げした。
4	小さなまちだからこその取り組み健幸創造プロジェクト ～みんなでつくる健幸で安全・安心に暮らせるまち～	健康福祉の充実 安全・安心な地域づくりの推進 住民が活躍するまちの実現	健幸と安全・安心を支える地域共生基盤の強化	健康寿命の延伸と介護・フレイル予防の推進 災害・事故から命と暮らしを守る安全・安心の確保 地域共生社会に向けた支え合い・生涯学習の推進	「健康福祉」という広い表現を、健康寿命・介護予防・フレイル対策等に具体化し、高齢化の進展と社会保障費の増大を見据えた重点化を図った。 防災・減災や交通安全を、単なる「安全な地域」から、命と暮らしを守る危機管理・レジリエンスの視点に整理し直し、ハード・ソフトの両面で強化する方向性を明確化した。 住民の活躍を、地域福祉・ボランティア・コミュニティ活動・生涯学習を通じた「支え合い」として捉え直し、孤立防止や多世代交流を含む地域共生社会の基盤づくりへと発展させた。
横断的視点			DXの推進		-